

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 27 年 8 月 20 日 (2015.8.20)

【公表番号】特表 2014-520764 (P2014-520764A)

【公表日】平成 26 年 8 月 25 日 (2014.8.25)

【年通号数】公開・登録公報 2014-045

【出願番号】特願 2014-517444 (P2014-517444)

【国際特許分類】

C 0 7 K 7/06 (2006.01)

C 0 7 K 5/10 (2006.01)

C 0 7 K 5/08 (2006.01)

A 6 1 K 38/00 (2006.01)

A 6 1 P 9/10 (2006.01)

A 6 1 P 25/28 (2006.01)

A 6 1 P 25/00 (2006.01)

A 6 1 P 25/16 (2006.01)

A 6 1 K 38/22 (2006.01)

A 6 1 K 38/27 (2006.01)

【 F I 】

C 0 7 K 7/06 Z N A

C 0 7 K 5/10

C 0 7 K 5/08

A 6 1 K 37/02

A 6 1 P 9/10

A 6 1 P 25/28

A 6 1 P 25/00 1 0 1

A 6 1 P 25/16

A 6 1 P 25/00

A 6 1 K 37/24

A 6 1 K 37/36

【手続補正書】

【提出日】平成 27 年 6 月 26 日 (2015.6.26)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

アミノ酸が 3 から 6 個の配列で、フィコシアノピリン構造を有する発色性ペプチド (P C B - a a) において、アミノ酸配列が、配列番号 1 ~ 配列番号 5 と同定された配列によって構成される群から選択されることを特徴とする上記発色性ペプチド (P C B - a a) 。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の発色性ペプチド (P C B - a a) の少なくとも 1 つ及び許容される医薬添加剤を含むことを特徴とする医薬組成物。

【請求項 3】

虚血性及び神経変性疾患の予防及び治療のために、配列番号 1 から配列番号 5 にある前

記発色性ペプチド（PCB - aa）の少なくとも1つを0.9～3.375 mgの範囲で及び薬学的に許容される添加剤を含むことを特徴とする、請求項2に記載の医薬組成物。

【請求項4】

配列番号1～配列番号5と同定された請求項1に記載のペプチド及びフィコシアノピリンによって形成される群から選択された、虚血又は脳変性の予防又は治療のための化合物。

【請求項5】

請求項4に記載の化合物を含む、虚血性、炎症性又は神経変性損傷と共に進行する中枢神経系（CNS）疾患を予防又は治療するための医薬組成物。

【請求項6】

請求項4に記載の化合物の少なくとも1つを含む、虚血又は組織変性の予防又は治療のための医薬組成物。

【請求項7】

虚血又は組織変性が、虚血性、炎症性又は神経変性損傷と共に進行するCNS疾患を引き起こす、請求項6に記載の医薬組成物。

【請求項8】

構成要素が相乗効果を有し、請求項4に記載の配列番号1～配列番号5と同定されたペプチド及びフィコシアノピリンからなる群から選択された第1の構成要素、並びにI型インターフェロン、インターロイキン-2（IL-2）、エリスロポエチン（EPO）、アシアロEPO及びヒト成長ホルモンの分泌促進ペプチド（GHRP-6）によって構成される群から選択された第2の構成要素を含むことを特徴とする、薬学的組合せ。

【請求項9】

第2の構成要素がインターフェロン 又はインターフェロン の場合がある、請求項8に記載の組合せ。

【請求項10】

配列番号1から配列番号5と同定された前記ペプチドのいずれかを0.9～3.375 mg / Kg重量、フィコシアノピリンを300～750 µg / Kg重量及びインターフェロン 又は を500～5000 ng / Kg重量で使用する、請求項8に記載の組合せ。

【請求項11】

配列番号1～配列番号5と同定されたペプチド及びフィコシアノピリンによって形成される群から選択された第1の構成要素、並びにインターフェロン （IFN-a）及びインターフェロン （IFN-b）を含むI型インターフェロン；インターロイキン-2（IL-2）；エリスロポエチン（EPO）；アシアロEPO及びヒト成長ホルモンの分泌促進ペプチド（GHRP-6）によって形成される群から選択された第2の構成要素を含み、虚血、炎症又は神経変性に起因するCNS疾患を予防又は治療する医薬を製造するための、請求項8に記載の薬学的組合せ。

【請求項12】

前記医薬が、急性又は慢性疾患の結果として損傷を受けた脳実質を保護する、請求項11に記載の薬学的組合せ。

【請求項13】

前記CNS疾患が、原因が異なる脳虚血、多発性硬化症、アルツハイマー病及びパーキンソン病を含む、請求項11に記載の薬学的組合せ。

【請求項14】

配列番号1～配列番号5と同定されたペプチド及びフィコシアノピリンによって構成される群から選択された第1の構成要素；並びにインターフェロン （IFN-a）及びインターフェロン （IFN-b）を含むI型インターフェロン；インターロイキン-2（IL-2）；エリスロポエチン（EPO）；アシアロEPO及びヒトGHのペプチド分泌促進（GHRP-6）によって構成される群から選択された第2の構成要素を含む薬学的組合せを含む、虚血、炎症又は神経変性に起因するCNS疾患の予防又は治療のための医薬組成物。

【請求項 15】

前記組合せが、急性又は慢性疾患の結果として損傷を受けた脳実質を保護する、請求項 14 に記載の医薬組成物。

【請求項 16】

前記組合せを形成する前記構成要素が、原因が異なる脳虚血、多発性硬化症、アルツハイマー病、筋萎縮性側索硬化症、脊髄小脳運動失調症、ハンチントン病及びパーキンソン病などの CNS 疾患の薬物治療の過程の間に、同じ対象に同時に又は逐次的に投与される、請求項 14 に記載の医薬組成物。